

全日本少年少女武道少林寺拳法錬成大会

2016年8月6日、「平成28年度全日本少年少女武道・少林寺拳法錬成大会」が日本武道館で開催されました。

今年度は、大会テーマ「ワクワク～あなたとともに～」のもと、200所属約1500名の拳士が参加して行われました。井上弘実行委員長による大会テーマの説明の後、開会式が行われ、高村正彦大会会長による挨拶、宗由貴少林寺拳法グループ総裁による来賓祝辞がありました。参加した少年少女にとっては激励と大きな励みとなりました。開会式に続き、武道優良団体として、「大野原スポーツ少年団」及び「水戸スポーツ初年団」の2団体が日本武道協会から表彰されました。

開会式後、全員参加による、準備運動、基本の突き・蹴り・単独演武などの「基本錬成」が会場一杯に響き渡る元気な気合のもと20分ほど行われ、続いて種目毎、コートに分かれて「演武錬成」が行われました。演武錬成においては、規定単独基本演武に種目「3級～1級の部」が追加されるとともに、団体演武に限り、組演武又は単独演武との重複出場ができるようになり、拳士にとっては日頃の修練の成果が発表できる場が増えました。少年少女拳士がそれぞれ参加した種目において、メダルを目指して一生懸命演武を披露し取り組んでいる姿が印象的でした。

演武錬成の後、拳士がアリーナに整列して、演武錬成における優秀演武の披露と高校生による模範演武が行われました。同じ拳士として、心を一つにして讃えあうとともに、高校生による「息の合ったキビキビとした団体演武」は少年少女にとって将来の修練の目標となったものと思います。その後全員で、規定組演武内容から数技を選び、技のポイントを中心とした「稽古錬成」が行われ、会場に集った拳士どうしのまたとない交流の場となりました。

最後に、川島一浩大会名誉会長の挨拶が行われ、盛況の内に大会が終了し、拳士たちはそれぞれの思い出を胸に会場を後にしました。

*写真は次ページをご覧ください。





